

【書く・なぞる】俳句 松尾芭蕉 四

萤火や 小束の藻草 舟の跡

我が名をば 秋風の吹く 時雨かな

梅が香に のつと日の出る 山路かな

閑かさや 椿落ちたり 石の上

木枯しや 目に見えぬ海 波の音